Pioneer sound.vision.soul

S-VSL3 スピーカーシステム　取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、6Ω（オーム）です。負荷インピーダンスが 4〜16Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に 4〜16Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。
- 許容入力以上の入力をいれない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 注意

[設置]

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- スピーカーシステムのグリルは、取りはずすことができません。無理にはずそうとするとグリル破損の原因となることがありますのでおやめください。

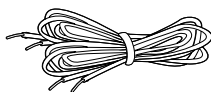
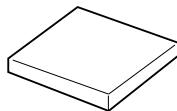
[使用方法]

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが 発熱し、火災の原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

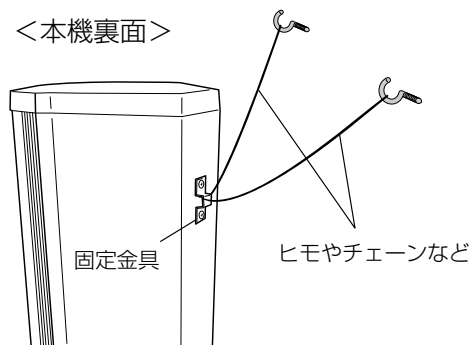
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

付属品を確認してください

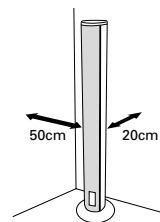
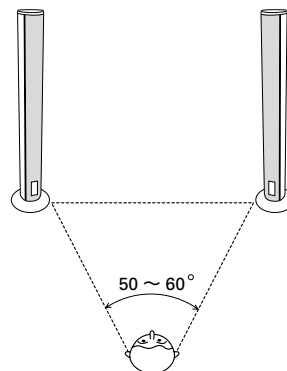
- スピーカーコード

- 吸音材

- マジックテープ
  (オス凸) x 1
- マジックテープ
  (メス凹) x 1
- 取扱説明書
- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内

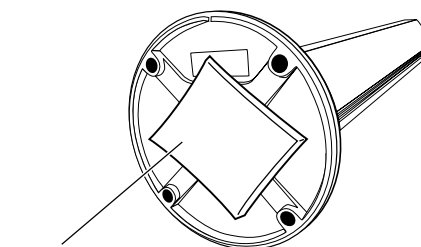
設置について

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。

- 裏板に取り付けてある固定金具に、ヒモやチェーンを使用して確実に本機を柱や壁に固定してください。また、固定する柱や壁は、スピーカーシステムの重量に十分に耐える強度があることを確認してください。固定した後は、必ず転倒しないことを確認してください。
- 転倒した場合、故障の原因となることがあります。
- 裏板に取り付けてある固定金具を、直接壁に掛けないでください。この金具は転倒防止のため、ヒモやチェーンを使用する際にご利用ください。

必ずヒモやチェーンを金具に取り付けて、固定してください。

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故損傷については、当社は一切責任を負いません。

- このスピーカーシステムは、約8kgの重量がありますので設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。
  後壁からの距離で低音の量感が調整できます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。

- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

■ **低音域の調整**

本機はスピーカーシステム底面に取り付ける吸音材を付属しています。吸音材を取り付けることにより低音域の音質を調整することができます。スピーカーシステムの設置場所やお客様の好みの音質に合わせて、吸音材を図のように取り付けてお楽しみください。

吸音材
スピーカーシステムの底面に吸音材を押し当てます。台座（滑り止め部）と床の間にはさまないように注意してください。

- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステム背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをおすすめします。
- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビ等の画面となるべく同一平面になるように置いてください。
- テレビ等の画面と組合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビ等の画面を左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムを聴取位置から約50°～60°の角度に設置するのが理想的な置き方です。

- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また床面へはじゅうたんなどで処理することをおすすめします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで処理をすると定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。

⃠ 設置上の注意

- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。

ステレオアンプとの接続

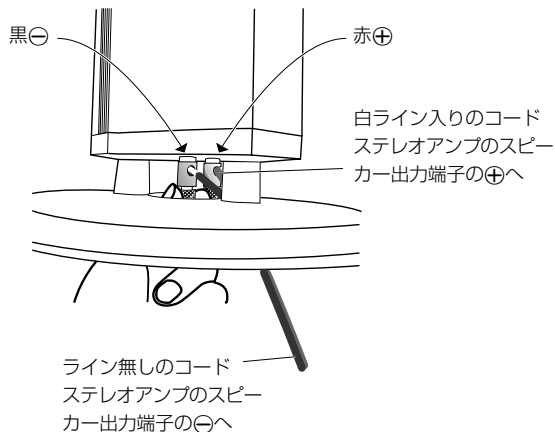
本スピーカーシステムは、底面に入力端子があります。

① ステレオアンプの電源プラグを抜いてください。

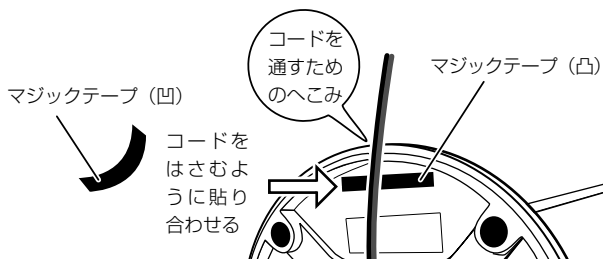
② スピーカーシステム底面の入力端子とステレオアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。⊕端子は白ライン入りのコードで、⊖端子はライン無しコードでつなぎます。

1、被覆をはがして先端をまとめる。

2、スピーカーコードを底面の穴から入れる。

3、ネジをゆるめ、コードを穴に差し込んでからネジをしめる。

4、マジックテープ（凸）のはく離紙をはがし、底面の「コードを通すためのへこみ」付近に貼りつける。

5、底面の「コードを通すための凹み」からコードを出す。

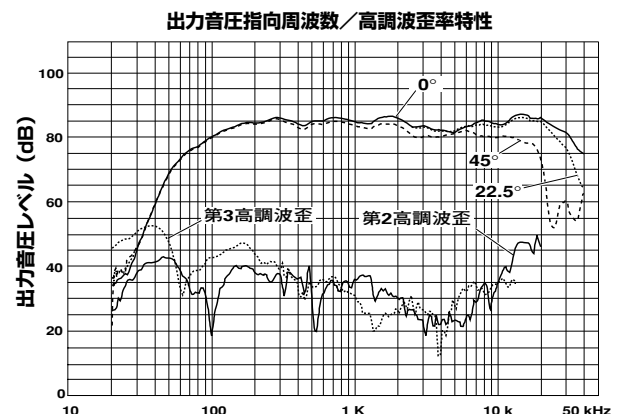
6、マジックテープ（凹）でコードをはさむようにマジックテープ（凸）に貼り合わせる

- 端子に接続した後コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしがふれたりするとステレオアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- ステレオアンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（+、－）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

仕様

形式 ...... 位相反転式、トールボーイフロア型防磁設計(JEITA)
スピーカー構成 .... 2 ウェイ 方式
　ウーファー .... 8.3 cm コーン型 x 2
　トゥイーター .... 2 cm ドーム型
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 50～40,000 Hz
出力音圧レベル .... 85 dB/W(1m)
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 80 W
クロスオーバー周波数 .... 4 kHz
外形寸法 .... 240(幅) x 1,080(高) x 240(奥行) mm
質量 .... 8 kg (1個)
付属品 .... スピーカーコード(7.0 m) x 1
吸音材 (白) x 1
マジックテープ（オス凸） x 1
マジックテープ（メス凹） x 1
取扱説明書 x 1
保証書 x 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 x 1

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証期間中（一年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の最低保有期間*は、製造打切後 8 年間です。
＊この期間とは通商産業省の指導によるもので、補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

出力音圧指向周波数特性／高調波歪率特性

ご注意

- 防磁設計（JEITA）ですのでテレビやモニターと組合わせても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたら、スピーカーをテレビから離してご使用ください。

豆知識

スピーカーシステムは、お客様の使用環境や使用状況により音質が変化していきます。購入直後より問題なくお使いいただけますが、音楽ソフトなどを数十時間再生の後に、スピーカーシステム本来の性能が引き出されます。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口：**0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口：**0070-800-8181-33**

ファックス：**03-3490-5718**

<ご注意>
フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81095**

一般電話：**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、土曜　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休日は除く）
日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（プラズマテレビのみ受付）

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）

一般電話：**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

<ご注意>
フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話：**098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<03G000001>　<SRA1403-A>